

## 会議録

会議の名称	西東京市立ひばりが丘中学校及び西東京市立田無第二中学校 通学区域見直し等に関する地域協議会（第7回会議）
開催日時	平成30年1月29日（月） 午前10時00分から午前11時40分まで
開催場所	エコプラザ西東京 多目的スペース
出席者	<p>&lt;委員&gt;真鍋 五十鈴、赤澤 賢一、河野 美晴、喜多見 郷子、勝見俊也、志水 郁子、中平 由美子、加瀬 裕子、井上 雅子、瀬沼 洋子、本名 修也、高野 富、住田 佳子、内野 未来、野崎 信行、佐藤裕子、大谷 千夏、水野 伸一郎、永井 昌史、広野 園枝、諸岡 浩、高柳 徹、菅家 淳子、屋宮 茂穂（順不同・敬称略）</p> <p>&lt;事務局&gt;早川礼成（教育企画課長）、大谷健（教育企画課課長補佐兼学務係長）、根岸伸太郎（教育企画課学務係主査）、和田克弘（教育企画課企画調整係長）</p>
傍聴者	0人
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 地域協議会検討結果報告書（案）について 4 その他 5 閉会
会議資料の名称	資料1 地域協議会（第6回会議）会議録（案） 資料2 ひばりが丘中学校及び田無第二中学校通学区域見直し等に関する地域協議会検討結果報告書（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>&lt;○発言者：発言内容&gt;</p> <p>開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○会長：第6回の会議録（案）について、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。</p> <p>○委員：（異議なし）</p> <p>○会長：それでは正式な会議録とする。</p> <p>議題3 地域協議会検討結果報告書（案）について</p> <p>○事務局：資料2に基づき説明。</p> <p>○会長：報告書（案）について、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。 今回は最終回のため、事務局と調整した上でご意見を反映し、報告書の完成とさせていただきます。</p> <p>○委員（谷戸小）：9ページ【第1案】で、谷戸小学校は、ひばりが丘中学校への進学</p>	

が増えることから、実態に合った表現にしてほしい。【第2案】についても谷戸小学校から全員がひばりが丘中学校への進学へ変更となる点がわかるように記載してほしい。

- 委員（ひばりが丘中）：12ページ、まとめ2行目（小中連携の点）において、本協議会で、学校の進学先が増えてしまうデメリットについて認識した。そこで、進学先が変わることのメリット・デメリットを伺いたい。
- 委員（中原小）：進学先が変わることで、多様性や人間関係が増えることのメリットがある。一方で、進学先が変わらないことで、子どもの状況が安定することもある。
- 会長：子どもの家庭環境が見えにくい、情報収集しにくい時代となっている。育成会等の地域との関わりでは、分散するよりは集約していたほうが良い。一方で、子供の成長において、変化がプラスに働くこともある。一概にはメリット・デメリット言いつらい。地域と学校と一体で対応するには、組織が安定していることから、集約していたほうが良い。
- 委員（ひばりが丘中）：分散化は最小限にとどめたい。
- 委員（保谷小）：現在、中学校3校へ進学する。メリット・デメリットがある。子どもは変わること慣れやすい。信頼してよいと思う。新しい歴史を進めることができる。
  
- 委員（ひばりが丘中）：（小中連携の点）について
- 事務局：これまでの協議会で、小中連携の観点から、学校の進学先が集約していた方がよいとの意見があった。また、小中一貫教育も視野に入れており、カリキュラム作成や子供の交友関係の維持のメリットがある。
- 委員（田無小）：本校は、中学校4校へ進学している。発達段階、人間関係が広がるメリットがある。子どもは総じて順応する。コミュニケーション能力が高まる。一方、小中連携の点では、進学先が数名とならないようなほうが良い。個別の事例はあるだろうが、過度に心配する必要はない。
- 委員（田無小）：経験上、少数の進学先の保護者も心配であった。保護者も学校活動等を通じて関係を深めた。いずれは高校の進学等で分かれることとなる。小中連携の観点からお願いで、進学予定者が1割、2割の中学校から、中学校入学前の部活動等の案内や声掛けが少ない印象がある。
- 事務局：次年度以降、学校と教育委員会が連携して、どの学校へ進学しても連続性が保たれるよう検討していく。検討結果は随時報告する。
- 会長：中学校としても検討していく
  
- 会長：全体を通して、感想を含めご意見を伺いたい。
- 委員（ひばりが丘中）：子どもの柔軟性に期待している。完成後もひばりが丘中学校として名称を継続してほしい。
- 事務局：建替協議会でも名称は協議した。原則は継続する。
- 委員（ひばりが丘中）：委員として保護者へ説明することがある。引き続き丁寧にしていきたい。
- 委員（ひばりが丘中）：ひばりが丘4丁目では、学校の移転が地域の人の念願となっていた。人間関係の変化、中学校間の交流も期待したい。
- 委員（ひばりが丘中）：地域との関係を考えてくれていると実感した。まとめを作成した経過を含め納得している。
- 委員（田無二中）：子どもたちのことが考えてくれていると体感した。地域を交えた

公立学校の教育力の高さを実感している。

- 委員（田無二中）：報告書が作成できてうれしい。子供たちはイメージした中学校に進学できなくてもきっと大丈夫だろうと思う。
- 委員（田無二中）：育成会と学校、育成会間の連携も大事だと思う。
- 委員（住吉小）：進学先が変わることについて、子どもの方が柔軟。むしろ保護者が子供にならって、新しい学校で対応する必要がある。地域全体、市内全体で活性化していきたい。体操着の着用等の詳細も配慮して、運用面で対応してほしい。
- 会長：二中と調整していきたい。
- 委員（住吉小）：学校選択制度、安全面どの学校でも大事。引き続き配慮をしてほしい。
- 委員（住吉小）：泉小の統合の経過からも、保護者の方が貴重な機会としてほしい。卒業しても引き続きお付き合いをしていきたい。
- 委員（谷戸二小）：線引きの変更で、進学先が大幅に変わる。ひばりが丘中学校の運動会、学校行事等を拝見していると、引き続き楽しみである。小中連携の点は、カリキュラムの観点からも重要。バランスの良い最終案となった。
- 委員（谷戸二小）：決まった情報を早く、丁寧に周知してほしい。
- 委員（谷戸二小）：建替スケジュールを丁寧に説明してもらっている。谷戸二小が2つに分かれることから、意見等を伺って、理解してもらえるようにしたい。
- 委員（中原小）：様々な観点から検討を重ねて、報告書が作成できた。
- 委員（中原小）：子ども、地域に対する愛情を感じた。建替校を楽しみにしている。
- 委員（中原小）：建替協議会、地域協議会との連携性を感じた。
- 委員（谷戸小）：地域協議会の当事者として、活気ある内容で良かった。
- 委員（谷戸小）：これまでの小中連携は続けている。変革時期のため、より良くするチャンス、育成会や地域の方と協力して発展できればと思う。
- 委員（保谷小）：会議参加へのお礼。事務局に何度も丁寧に対応してもらった。
- 委員（田無小）：校区からの進学者が少ないが、どこも中学に進学しても快適にできるようなれば良い。
- 委員（田無小）：気分を変えて新しいことを始めると考えたら良い。子どもへ配慮しつつ、過度に心配することのないようにしたい。
- 会長：協議会終了のお礼。報告書、会議録の最終調整は一任してほしい。

<一同了承>

#### 議題4 その他

- 事務局：今後の報告書の取扱い。本日欠席者への対応。協議会終了のお礼。

閉会